

平成25年度運営方針

25年度は、公的機関からの受注の大幅な減少が確実視され、24年度以上に厳しい状況下にある。しかしその一方で、新潟市外の企業からの受注が、徐々にではあるが増加している。また、秋葉区民待望の文化会館と体育館が今秋オープンする。こうした新たな芽に着目し、新規顧客の拡大に努めていく。

「エフエム新津は、どんな放送をしているのだろうか?」。より良い番組づくり、リスナーの増大、そして収益の向上は、この素朴な自問自答から始まると考えている。25年度は、第20期という節目の年にあたる。社員全員がこの問いかけを肝に銘じ、全力を傾けていく。

1.重点事項

- 秋葉区の個性・特性に目を向け、「ふるさと再発見」につながる企画をコミ協に提案し、コミ協とで計画を実践する。
- 行政、商工団体、農業団体、ボランティア団体、コミ協等が主催するイベント等を積極的に放送りあげるとともに、可能な限り参画する。
- 新潟市外の新規顧客の拡大に留意する。
- 文化会館と体育館の開館を機に、文化・スポーツの振興に寄与しつつ収益力の向上に努める。
- 経常経費の節減を推進する。

2.主要事業

- 株主総会・取締役会……随時
- 番組審議委員会議……年6回
- 新潟市定例市議会中継放送……年4回
- 防災情報提供……通年
- 緊急告知FMラジオ起動電波発信実験……毎月第3日曜日
- 秋葉区内の行政情報番組「クリック秋葉区」……月～金
- 地域情報番組「なじらねラジオ」……月～金
- 第11回アフターヌーンジャズライブ……11月
- ふるさと再発見事業……随時(コミ協協賛)
- 各種イベントの告知放送及び司会進行……通年
- 文化・スポーツ団体との連携強化……通年

3.収支予算(H25.4.1～H26.3.31)

| 科 目 | 予 算 額 単位:千円(消費税込) |
|------|----------------------|
| 事業収入 | 50,350 |
| 事業支出 | 49,874 |
| ①番組費 | 8,192 |
| ②技術費 | 3,250 |
| ③販売費 | 6,584 |
| ④人件費 | 25,354 |
| ⑤管理費 | 6,494 |
| 法人税 | 250 |
| 当期損益 | 226 |
| 累計損益 | ▲15,942 |